第５回小布施町立保育所等整備検討委員会議事録

[出席者]
わかば保育園保護者会長 月岡氏
つすみ保育園保護者会長 邉田氏
認定こども園栗ガ丘幼稚園保護者会長 川上氏
前中条自治会長 竹内氏
前雁田自治会長 呉羽氏
小布施町デザイン委員会委員 新氏、見海氏
民生児童委員会会長 土屋氏
一般社団法人信州子育てみらいネット代表理事 山岸氏
小布施学園コミュニティ・スクール運営委員会会長 原氏

[事務局]
教育長 山﨑
子ども課課長 益満
子ども課子ども家庭支援係 関口、岡田、武井
つすみ保育園長　　市川
わかば保育園長　　佐藤
栗ガ丘幼稚園園長　中西

１．開会
２．挨拶　教育長 山崎より
３．協議事項
　1) 新氏より挨拶。
　2) 前回ワークショップのまとめ説明。(別紙参照)
　3) 事務局より資料の説明。(別紙参照)
　　・ワークショップを踏まえた方針案の説明。
　　① つすみ保育園への現地建て替え案
　　② わかば保育園への現地建て替え案
　　③ 別敷地への建て替え
　　④ その他(別の建て替え方法など)

・統合、集約化した場合の保育士、補助人数の検証。

・民間認可保育所の運営費等の検証。

4）建替え案の比較検討資料の説明。（別紙参照）

5）長期的なスケジュール案の説明。（別紙参照）

４．質疑応答

・資料では新つすみ保育園という表記がなされているが、つすみに建て替える前提なのかわかばでの建て替えはもう町としては考えていないのか。（委員）

→便宜上そう記載しているが、特に決まっているわけではなく、町全体の新町立保育園ということで考えている。（事務局）

・三つの上位条件があるが、町営は３園から２園として統合をするということが、大きな方針であり、それ自体が上位条件であるという理解でよろしいか。（委員）

→そのとおり。（事務局）

・そのうち、跡地となる片方を民間事業者の活用を検討していくという理解をすればよろしいか。（委員）

→それが方針とは限らない。別の場所に民間保育園を建設することも含んでいる。（事務局）

・園の数としては民間事業者も含めて３園体制は継続というのが大きな方針であるという理解でよろしいか。（委員）

→３園となる考え方で問題ない。それに加えて企業主導型保育施設もある。（事務局）

・そのあたりの共通理解のうえで話ができればと思う。また、民間事業者の活力を検討するということは、現在検討中である基本構想にうたわれる内容を公募要項として、町が公募を行い、民間事業者が手をあげるという構図でよろしいか。（委員）

→そのとおり。（事務局）

・現地建て替えの場合の費用は記載があるが、別敷地建て替え案の場合は金額が記載されていない。そこを検討してもよろしいのではないかと思うがいかがか。（委員）

→現状、現地以外の建て替えの場合、候補となる土地に関しては町営グラウンドや丸都といった案をいただいている状況である。本日、委員の皆様からそこについての意見をいただいた後、町民の皆様へ町の方針を提示し、さらに他の候補地案も募っていきたいと考えている。そのため現段階では土地に関しては記載していないが、ご意見をいただき、今後どう記載していくか等も踏まえて資料を作成したい。（事務局）

・この現地建て替え案というのは、先ほど建築事務所からお話があったとおり、デメリットが多すぎるのではないかと思う。駐車場や日当たりの問題、保育士たちの手間をとらせてしまうような事態になるのであれば、保護者の立場としては別の敷地を検討していただきたい。また、金額が記載されているが、町としての具体的な予算から逆算して計画を作成していくことは難しいのか。（委員）

→ご意見踏まえて検討していきたい。町では保育園に限らず、様々な公共施設が老朽化している状況にあって、大規模な建設工事に備えた基金、蓄えをしている部分があり、約６億円程度ある。そういったものを今後の公共施設の整備に向けて毎年積み立てをしているが、先ほどの建設費用については、前回も申し上げたとおり、約６億円では賄いきれない。そのため国の起債等も活用していかなければならない。

また、新たな土地について、場所によって農地か、そうでないかによってかなり金額は変動する。面積も広く、地権者との用地交渉等も金額変動の要素となり、例えば果樹や畑になっていればその補償も生じる。そのためなかなか明確な金額を見通せない部分があることをご理解いただきたい。（事務局）

・建替え費用について、現地敷地建替え案と別敷地建替え案の費用はどのくらい変わってくるのか。また現地での建替え案はデメリットが多い。別敷地建替えも視野に入れるべきではないか。長期的に見たときに人件費等も考慮する必要がある。先々のことを考えながら現実的なプランを考えた方が良いと思う。（委員）

→新園舎建設だけではなく、それ以降の町の財政負担がどうなっていくのかというところは検討が必要。資料にある民間事業者に委託した場合の運営費と、町立保育園の長期的な資産のシミュレーションをしておく必要があるため、さらに精査してお示しできるような形にしたい。（事務局）

・現地での建て替えはデメリットが多い中で、小布施町でこどもを預かる園を 10 年 20 年 30 年単位で考えたとき、本当にこの場所が最良なのか。様々な課題があるが、それでその後何十年と考えるのであれば、もう半年もしくは一年間かけてでも、町内の土地を持っている方や組合等から本当にベストな土地を探したほうがよいのではないかという気がしてならない。もう畑をやめたい、買ってほしいと言っている農家がほとんどで、より広くより安く、その分良い建築ができる、広い駐車場がある、安全な場所を探せるのではないかと思う。そういった検討を５月までだとできないかもしれないが、せっかくであれば素晴らしいものを、喜んでもらえるものを造ってもらいたい。

お金の面だと、本当に素晴らしいものを１か所建設できれば、既存の土地も分譲後に売却といったこともありえるはず。今後残っていく施設ということを考えれば、現地建て替えで建設期間中にうるさい思いをして、お昼寝もできない、園庭で遊べないこどものことを考えればどちらが良いかは明白ではないか。このように考えているため、もう少し時間をかけたい。（委員）

・確かに別敷地という視点は置いて、既存敷地でシミュレーションしているため、長期的に考えると別敷地も踏まえて検討しないといけないと感じた。（委員）

→様々なシミュレーションをし、深堀していくに従って選択肢が広がり判断が難しくなっているなと感じているのが正直なところ。なかなか方針を決めかねているというところがあり、それは町長も同様で、今の段階では十分な検証ができていないという思いがある。

ご指摘があったとおりのことを皆さん感じていると思うが、様々な課題があるなかで、リスクを負って現地で建て替えをすることについて、現状ではなかなか難しいと感じている。（事務局）

・「小布施町は幼保小中一貫教育でいく」と、うたい続けてきが、教育長と町長が変わると同時に方針も変わり、良くも悪くも驚きがある。つすみ保育園、わかば保育園で保育補助員含め保育士が 29 人しかいないのは大変だろうと感じる。集約できればより良い保育ができると思うので、頑張ってほしい。

質問であるが、統合した後の空き敷地をどうするかという話について、そこはまだ決まっていないという回答があった。先の委員のお話では分譲して売却という話もあるなかで、「わかばなら」「つすみなら」どうしていきたい等について、話し合いの中でどういった意見が出ているのか。（委員）

→これまで役場庁舎内で公共施設の在り方を検討していくなかで、例えば現つすみ保育園の方に統合していく場合に、財政的な面で、わかばは民間譲渡や売却するという意見がでた。一方で他の公共施設があるので、複合化して建て替えるという意見もあるが、あくまで意見の一つで決定しているということではない。別敷地選定については今後小布施町で検討を進める。（事務局）

・この会議が始まる前までは、新しく土地を買うということが不可能に近いと思っていたが、その話を思い出し、小布施町で保育園を建て替えたいのだが、市街化区域の中で何平米の土地を提供してくれる人はいないか 1 か月だけ募集してはどうか。今の土地がベストでないのであれば一考の余地はある。良い結果が出せず、長引いて設計事務所への委託費が増えるだけという懸念もあるが、それで素敵な園舎が建つ可能性もある。（委員）

・前回の会議で国の交付金を活用するという話があったが期限があったと記憶している。新しい土地を探して、それに間に合うのか。（委員）

→間に合わない。新たに土地を探して、契約までとなると不可能に近い話になる。制度上、令和 8 年度までとなっているが、延期すれば活用できる可能性はある。（事務局）

・新しい土地を探すとなったとき、例えば幼稚園の近くだと密集しているといった課題もあるが機能を集約できるといった見方もでき、一方で町内にバランスよくあった方がよいという両方の意見が考えられるが、そのあたりはいかがか。（委員）

・長野市であれば近いところを希望しているが、小布施町であれば大差ないと思う。（委員）

・現在、徒歩や自転車で送り向かいをしている人は少ないですか。（委員）

→少ない。町内の立地バランスよりも、駐車場がしっかり確保されていることや、駐車場と園舎が分かれて安全であることほうが保護者は気にされる。（事務局）

・新しい土地で複合型を目指すとなると園舎プラスαになるが、ハードルが高くなる気がする。現状の土地だと両園とも近くにそういった施設があるため連携もしやすい。最近は新型コロナウイルスの影響もあり、保育園と高齢者施設の接点がなくなりつつあるが、高齢

者施設としては接点を持っていきたいという気持ちがある。大変なことではあるが、考えた方がよいのではないか。（委員）

・園児が減少する一方で高齢者が増えていくため、もしかしたら高齢者施設の新設も検討される。最適な配置を複合的に考える必要がある。（委員）

・今の話し合いのなかでは何となく現地建て替えよりも別の場所で建設という流れにはなっているが、現場の保育士等の声を拾う機会はないか。例えば今の老朽化が著しく、一刻も早く新しい園舎がほしいのであれば、現地の建て替えもやむを得ないのかなと思う。そのあたりはいかがか。（委員）

・保護者へのアンケートはこれまで実施した経過があるが、現場の保育士の声を聞き取りは行ったか。（委員）

→２年前ごろに保育士に話を伺い、どんな園舎が良いか等の聞き取りを行ったが、建て替え前提での話し合いではなかった。その話し合いに何を求めて保育士の声を聞き取りすばよいかが明確でない。もう少し後の設計の段階であれば同じ職員であるので聞いていく予定だが、様々課題が多い中で、改めて今ここで話の場を作って、何を聞いて、どう反映させていくのかが課題。追加で聴取することは考えにくい。（事務局）

・例えばハードの面の話に関しても、以前つすみ保育園の現地視察の場で寒い、暑いという話がでたが、建物そのものを考え直さないと対応できない課題だと思うが、先ほどのトイレの話等は割と即効性のある設備単位の話であり、毎年改修できる。そのような箇所に現場の声は反映できるし、国の補助を充てられればなお良い。なので、本当に大切にしなければならないところに優先順位をつけて、資料の上位条件に付け加えたい。必要であれば、大きい地図を広げて話し合い、現地を見にいく必要がある。繰り返しになるが、本当に困っている部分を洗い出し、安全性の面でも、少しのハードの修繕で改善できる部分もあるのかもしれない。そこは年度予算で対応できないか。全体を見ようとしすぎて目先が見えていないような感じがある。高齢者施設の話もしかり、改めて検討の必要があるのかもしれない。（委員）

・先ほどの保育士の意見を聞くことは大事だと思う。散歩に行くとき〇〇が見られるから良い、電車の音は聞こえるけどお昼寝の邪魔にはならない等働いているからこそ分かる視点を大切にしたい。建て替えの話を聞いたとき、勝手に別の土地の建て替えを想像した。同じ場所というよりは時間をかけてもよいので別の場所を検討し、小布施町の目玉となるような素敵なものをつくってほしい。（委員）

・既存敷地に建替える案はデメリットが大きいと思う。可能なら新しい土地を探したい。町長も県下一の保育園を作りたいと公約していた。（委員）

・現場で働いている人の意見は大事。保育士の声を大事にしたい。時間がかかっても新しい土地で魅力的な保育園を作りたい。また園児が外で遊べる游歩道などの整備もしたい。

（委員）

・新しい敷地の検討、高齢者施設との複合化のような重要な議題が５回も会議をし、形が固まっているところで出されるというよりは早い段階で出して方向性を固めたかった。保育園の前の小布施町立第三保育園で育ったこともあり、あの周辺の位置がふさわしいと思う。（委員）

・構想段階でしっかりと議論をしないとクレームや後悔につながる。ここが踏ん張りどころ。一方では方針が明文化されてきており、固まってきている部分もあると感じている。ただし、例えば設計事務所で大事にしている南側園庭のような譲りがたい条件等、もう少し書ける部分もあるとも感じている。このような上位ではないが、その下にあるような条件を書き出してみる作業が必要。また、２階建てについて、園長先生方は実際の運営としてどうお考えか。（委員）

・視察をした。階段があって、すぐに１歳児の教室であった。それが未満児にとって危ないと捉えるか全身運動と捉えるかは考え方次第。使い方やルールを決め、見守りをきちんとすれば、運営効率的にはよいのではないか。避難の関係であれば、外に滑り台がある。本当は平屋の方が良いが、条件的に２階建てなることもありうる。現地建て替えであるのであれば、平屋が理想。（事務局）

・大宮町長としての気持ちとしては、議論を積み重ねたいという思いがある。①～④の方針案が示されてはいますが、どれか１つにしようというわけではなく、様々な意見があるなかでそれぞれのメリットデメリットは何かを検討したい。保護者や町民の意見を聞き、検討したいという思いがあるのだと思う。今回お聞きしたことを町長にもお伝えする。４月に資料を整えればと思う。（事務局）